

第5学年〇組 図画工作科学習指導案

1 単 元

友達の作品のよさを鑑賞し、伝えよう

2 指導計画（2時間完了）

- (1) 視点をもって作品を鑑賞し、よさを伝える方法を学ぶ。……………1時間(本時)
- (2) 友達の作品を、視点をもって鑑賞し、よさを伝え合う。…………… 1時間

3 本時の指導

(1) 目 標

- どんな様子を表しているか、作品の世界の関心をもって見ようとしている。
【発言内容・鑑賞シート】（関心・意欲・態度）
- 作品に込められた思いや工夫について考え、話し合いを通して、自他の作品のよさを感じ取ることができる。
【発言内容・鑑賞シート】（鑑賞）

(2) 情報活用能力の育成について

鑑賞の視点を明確にして、感じたことや気付いたことを相手に正確に伝えることができる。
(情報活用の実践力)

(3) 準 備 絵画作品（実物、コピー児童数分） プロジェクタ 教材提示装置 鑑賞シート

(4) 指導過程（斜体・太字…情報活用能力の育成にかかわる部分）

時間配分	学 習 活 動	指導上の留意点	評価の観点と方法
2分	1 本時のめあてを知る。	○ 作品を見て、描かれていることを伝える活動を行うことを伝える。	
10分	2 作品を見て、感じたことや気付いたことを文章にする。	○ 作品を見せた後、感じたことや気付いたことを鑑賞シートに記述させる。 ○ 相談せずに書くように指示する。	○ 作品に関心をもって見ようとしているか、鑑賞シートからつかむ。
12分	3 自分の文章について話し合う。	○ 文章には事実と考えが書かれていることに目を向けさせ、区別して書けているかを確認させる。 ○ 相手に分かりやすく伝えるためには、事実と考えをどう組み合わせたらよいか（情報を読み取る視点）について考えさせる。	○ 事実と考えをどう組み合わせれば、相手に伝わりやすくなるかを考えることができたか、鑑賞シートからつかむ。
19分	4 再び作品を見て、情報を読み取る視点をもとにして文章を書き、発表する。	○ 材料や表現方法などにも注目するように話しながら支援していく。 ○ 友達と話し合いながら、進めてもよいことを伝える。	○ 感じたことや気付いたことを相手に正確に伝えることができたか、発表内容や鑑賞シートからつかむ。
2分	5 次時の予定を知る。	○ 次時は、友達同士の作品を鑑賞し合うことを伝える。	